

回 覧 ③

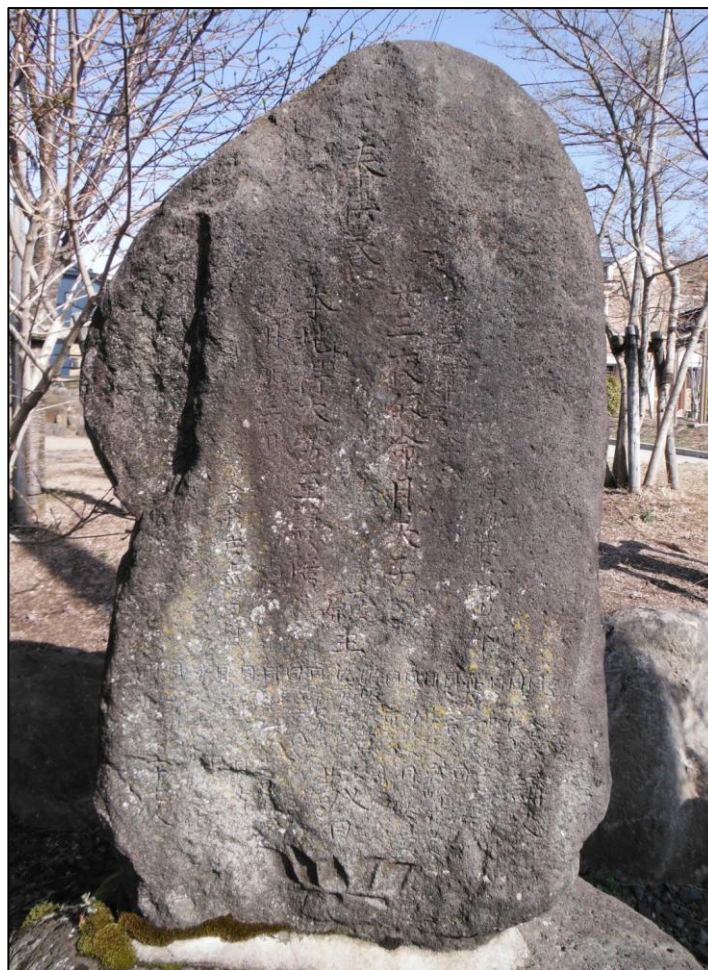
このNo 2（第2回目）は、No 1－2016（平成28）年1月15日付で回覧した「上桜田 月山神社（1）」の続きで「上桜田 月山神社（2）」として取り上げます。

1. 特徴的な石碑

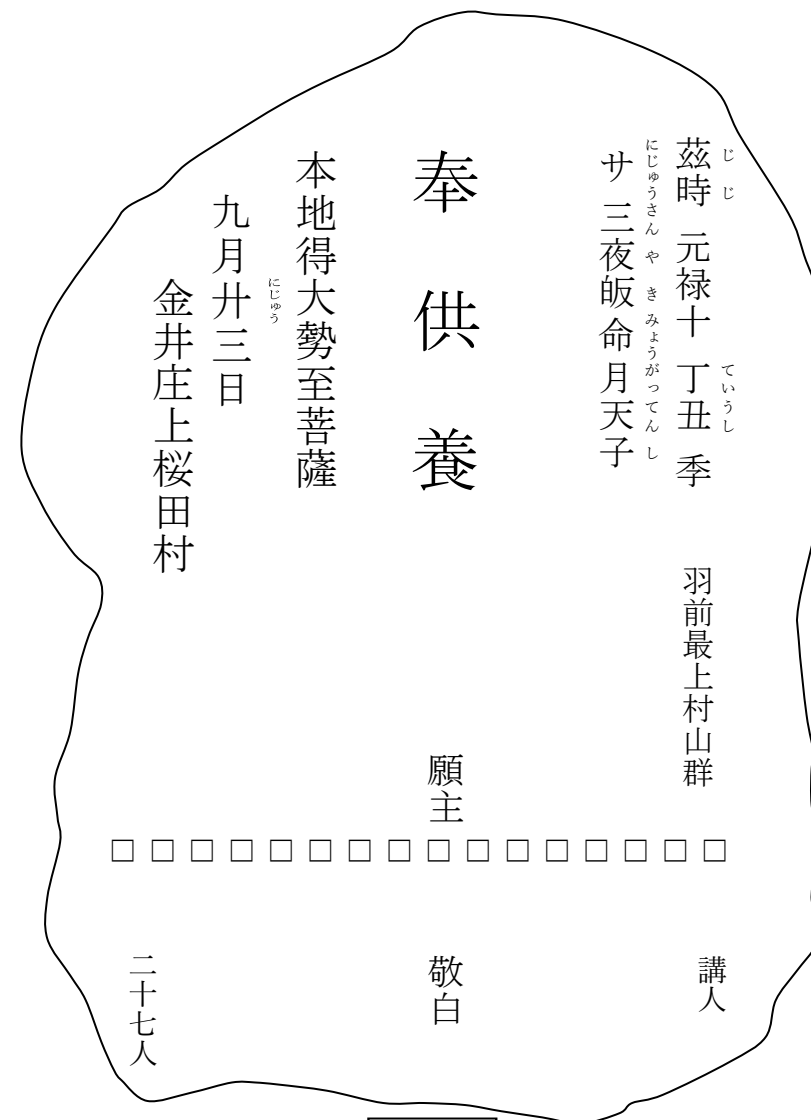
境内の供養碑等の石造物を 24 体に整理しているが、前月号（平成 28 年 1 月 15 日付「上桜田 月山神社（1）」）に特徴的なものとして記載した 3 点を紹介します。

（1）境内で一番古い石碑（図－1）

- ・ 建立年月は、元禄十丁丑 季九月サ三日（1697 年）
- ・ 大きさ（概寸）は、幅 68 cm×高さ 118 cm×厚さ 42 cm



図－1



図－2

現物は風化し、文字の正確な判読は難しいが、何とか読んで見たのが図－2です。□印の処に 27 人の氏名が刻字されています。

（2）寄進者の奉賛金額が刻字されているものとして紹介した碑銘「大神宮」（建立は、嘉永四辛亥年九月吉日／1851 年）は図－3の左側、滝山地区では貴重な石碑として紹介した碑銘「荒神」（建立は、明治卅〇年〇月）は図－3 右側です。

（3）その他の主なものを図－4に掲載します。

刻字の碑銘は左上から「瀧山塔」「蔵王山」「南無阿彌陀仏」「百万遍供養塔」「羽黒・湯殿山・月山」「庚申」です。



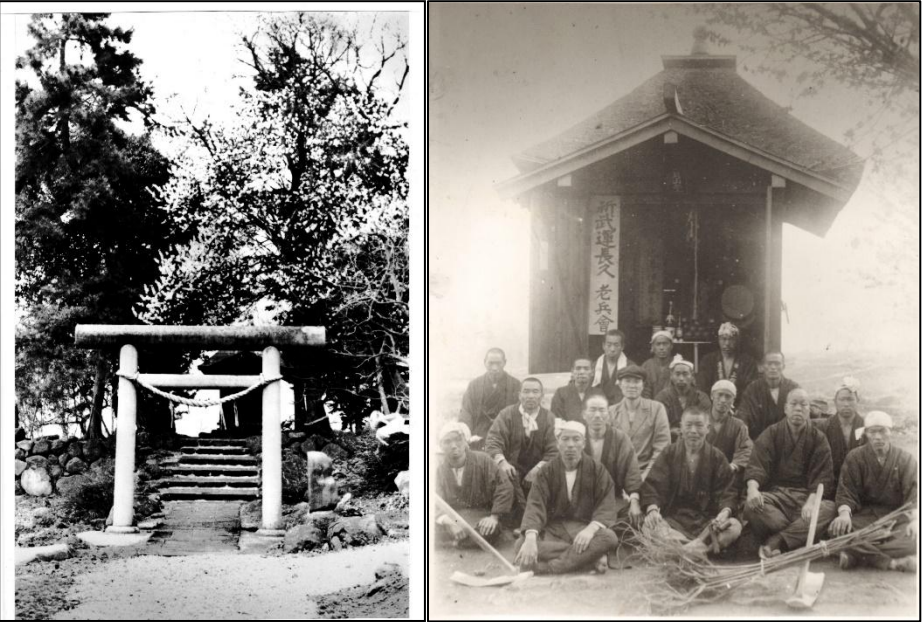
図－3



図－4

2. 往時を偲ぶ貴重な写真

図－5の左側は、本神社拝殿内に掲示されている写真をコピーしたもので、(故)岡崎誠さん寄贈、と書かれています。同右側は、上桜田9組の船越勝さんから提供されたもので、戦時中の昭和17年頃の写真です。「祈武運長久 老兵會」と書かれた文字板が見えます。いずれにも、現在の神社の建替え前の姿が見え、とても貴重なものです。とても貴重な写真です。



図－5

以上

(上桜田町内会 総務担当 大沼 香)

『上桜田 月山神社』境内の構造物等配置全体図（番号付定のものは石碑・石塔類）

